

令和元年度 安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 総会 会議概要

- 1 会議名 令和元年度 安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 総会
- 2 日 時 令和元年5月29日(水) 午後2時から午後3時30分まで
- 3 場 所 豊科交流学習センターきぼう 多目的交流ホール
- 4 出席者 宮澤 宗弘会長、宮島 克夫委員(代理 清水 齊氏)、小林 裕之委員、坪田 浩明委員、奥山 修司委員、藤松 兼次委員、中村 豊江委員、藤岡 嘉委員、真峯 嗣委員、山崎 徳昭委員、高橋 千治委員、高橋 秀生委員(代理 興 智幸氏)、望月 熙史委員、荒井 茂委員、二條 宏昭委員(代理 斉藤 敦氏)、耳塚 喜門委員、滝澤 洋委員、大内 清彦委員、西郷 靖純委員、松井 道夫委員、金井 恒人委員、上條 芳敬委員、野本 岳洋委員、西沢 剛委員  
事務局：野口政策経営課長、蓮井交通政策係長、交通政策係主査丸山  
担当課：商工労政課 降幡課長
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 記 者 1人
- 7 傍聴者 0人
- 8 会議録作成年月日 令和元年6月25日

協議事項等

◎会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 協議事項
  - (1) 専決処分の承認を求めることについて
  - (2) 平成30年度安曇野市地域公共交通協議会事業報告について
  - (3) 平成30年度安曇野市地域公共交通協議会決算について
  - (4) 地域間幹線系統確保維持計画「四賀線」(案)について
  - (5) 地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について
  - (6) 令和元年度あづみん等運行車両購入等計画(案)について
  - (7) 安曇野市地域公共交通協議会規約の改正について
- 5 報告事項
  - (1) 部会の設置について
  - (2) 各路線運行実績報告について  
(あづみん、定時定路線、あづみ野周遊バス、信州まつもと空港シャトル便、中房線)
  - (3) 簡易委託駅の無人化について(商工労政課)
- 6 その他
- 7 閉 会

#### 4 協議事項

(1) 専決処分の承認を求めることについて

【事務局説明】・・・資料1 (P.1～3)

収入支出予算の総額からそれぞれ1,080千円を減額し、収入支出予算の総額をそれぞれ75,303千円とする(平成31年3月29日専決)。事業費の確定により不用減。

《承認》

(2) 平成30年度安曇野市地域公共交通協議会事業報告について

【事務局説明】・・・資料2 (P.5)

通常事業に加え、「あづみん」累計100万人目の利用者へ記念品の贈呈を行った。

《承認》

(3) 平成30年度安曇野市地域公共交通協議会決算について

【事務局説明】・・・資料3 (P.7)

(1)により承認された専決処分に基づく決算の報告を行った。収支決算額75,299,492円で残高なし

《承認》

(4) 地域間幹線系統確保維持計画「四賀線」(案)について

【事務局説明】・・・資料4 (P.9～15)

地域間幹線系統である「四賀線」は、松本バスターミナルを拠点に安曇野市内2停留所(大口沢、中谷)を経由して、四賀支所までを結ぶ路線である。「四賀線」は存続・維持のため国庫補助をいただいて運行しており、本計画(案)を関係する協議会にお諮りしている。車両購入についても国庫補助を受けており本年度も1台購入予定である。

《承認》

(5) 地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について

【事務局説明】・・・資料5 (P.17～21)

「あづみん」は、高齢者、障がい者などの交通不便者の移動を担っており、運行には国庫補助を活用させていただいている。国庫補助の活用のために、本計画(案)をご承認いただきたい。また、車両更新についての国庫補助減価償却分についても計画の承認をいただきたい。

《承認》

(6) 令和元年度あづみん等運行車両購入等計画(案)について

【事務局説明】・・・資料6 (P.23)

あづみんに使用する車両の購入について市から補助を行っている。平成27年度から計画的に更新を図っており今年で4年目となる。30年度末に市補助金要綱を改正し、既存車両の改造又は必要な付属品設置に対しても補助ができるようになった。今年度は2社で合計3台の更新(購入1台、付属品設置2台)を予定している。

《承認》

(7) 安曇野市地域公共交通協議会規約の改正について

【事務局説明】・・・資料7 (P.25～33)

書面協議について明記するよう改正

《承認》

5 報告事項

(1) 部会の設置について

【事務局説明】・・・資料8 (P.41)

既存の定時定路線の拡充と、巡回バス導入の市民要望に対し検討するため部会を開催していきたい。

《承認》

(2) 各路線運行実績報告について

(あづみん、定時定路線、あづみ野周遊バス、信州まつもと空港シャトル便、中房線)

【事務局説明】・・・資料9 (P.43～69)

あづみんは延べ利用者数 86,273 人で前年度より 1,000 人程度増加している。一方で定時定路線は延べ利用者数 15,527 人で前年度より約 3,000 人の減少となった。穂高～明科路線での減少であり、その主な理由としては明科高校のクラス数1減によるものと推測される。その他、あづみ野周遊バス、空港シャトル便、中房線について利用実績を説明。

(3) 簡易委託駅の無人化について (商工労政課)

【商工労政課説明】・・・資料10 (P.71～77)

利用者へのアンケートや JR との協議により、簡易委託駅 (梓橋駅、中萱駅、柏矢町駅、有明駅、安曇追分駅、田沢駅) で現在行っている乗車券発行業務を本年度 9 月末で廃止する意向。常時駅員不在となるため、乗車券の購入・駅舎管理面・防犯面での対応が必要であり、現在 JR と調整をしている。

6 その他

特になし

7 閉会